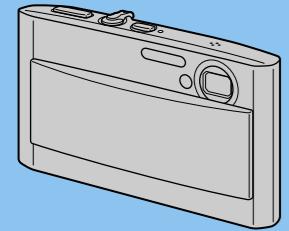


サイバーショット取扱説明書

はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

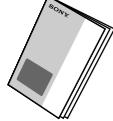
本書と別冊の「サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DSC-T5

Cyber-shot
MEMORY STICK™
INFO-LITHIUM™
T

あわせてご覧ください。



取扱説明書「活用編・困ったときは」(別冊)

進んだ活用法と、困ったときの解決方法などを説明します。



サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。

「活用編・困ったときは」の3ページ、102ページから104ページに、製品を安全にお使いいただくための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。ご使用の前によくお読みいただき、製品を安全に正しくお使いください。またお読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

© 2005 Sony Corporation Printed in Japan

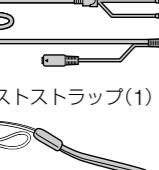
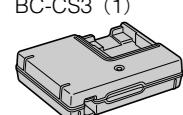
この説明書は100%古紙再生紙と
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物
油型インキを使用しています。


2635477020

付属品の確認してください

万一本体に不足する場合はお買い上げ店にてご相談ください。

・バッテリーチャージャー BC-CS3 (1)



・マルチ端子専用USB・A/V・DC INケーブル(1)



ご注意

はじめてお使いになるときは、付属のバッテリー NP-FT1 を充電してください。

液晶画面は有効画素99.99%以上非常に高密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



・本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。

■ サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

■ 使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター

電話: 0564-62-4979 (おかげ間違いにご注意ください。)

受付時間: 月~金曜日: 午前9時~午後8時

土、日曜日、祝日: 午前9時~午後5時

1 バッテリーを準備する

- ① バッテリーを入れる。
バッテリー後部をカチッと音がするまで軽く押す。
- ② 電源プラグを引き起こし、コンセントへ
- バッテリーチャージャー
 電源プラグ
 CHARGEランプ
点灯: 充電中
消灯: 充電終了(実用充電)
そのまま約1時間充電を続けると、若干長くバッテリーを使うことができます(満充電)。

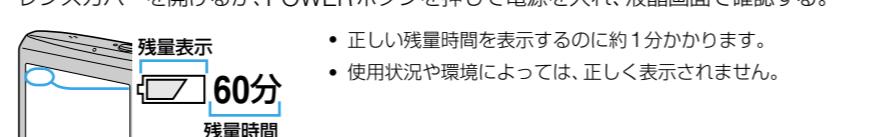
- ③ 充電したバッテリーを入れる。
- バッテリー / "メモリースティック デュオ" カバーを開ける。
 取りはずしつまみ
 バッテリーの端で取りはずしつまみを押しながら入れる。
 閉じる。

コンセントの電源で本機を使うときは

別売りのACアダプター AC-LS5K を使うと、コンセントにつないで使うことができます →別冊「活用編・困ったときは」15ページ。取り扱いについて詳しくは、ACアダプターの取扱説明書をご覗ください。

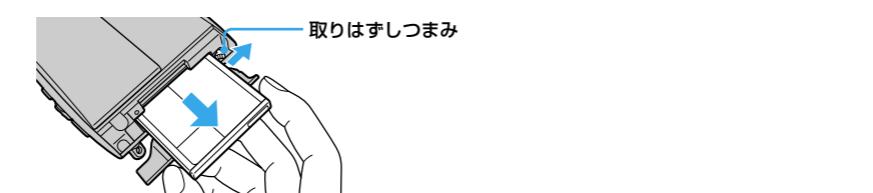
バッテリーの残量を確認するときは

レンズカバーを開けるか、POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

・正しい残量時間を表示するのに約1分かかります。
・使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

バッテリーを取り出すときは

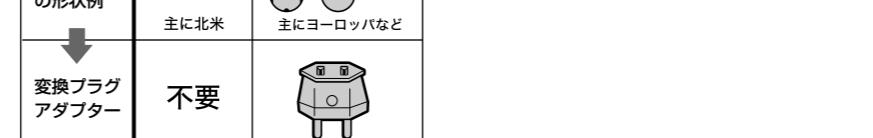
バッテリー / "メモリースティック デュオ" カバーを開け、取りはずしつまみをずらしバッテリーの端に指をかけて取り出してください。落下防止のため、つまみをずらしたまま下に向けないようにご注意ください。



海外で使うときは

バッテリーチャージャー(付属)やACアダプター AC-LS5K(別売り)は全世界(AC100V ~ 240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

・電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。

コンセントの形状例
主に北米
主にヨーロッパなど

不要

不要

2 電源を入れ、時計を合わせる

- ① モードスイッチを「■」にする。
- ② レンズカバーを開けるか POWERボタンを押す。
点灯

- ③ コントロールボタンで、時計を合わせる。
- 1 ▲/▼で日付表示順を選び、●で決定する。

- 2 ◀/▶で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して●で決定する。

- 3 ▶で[実行]を選び、●で決定する。

- ・時計合わせをやり直すには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

時計合わせをやり直すときは

■(セットアップ)メニュー画面で[時計設定]を選び、手順③を行う。
→別冊「活用編・困ったときは」43、54ページ

時刻表示について

- ・手順①で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。
・真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。

電源を入れたときのご注意

- ・時計合わせをしないと、電源を入れたたびに時計設定画面が表示されます。
・2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。



レンズカバーを開けるときは

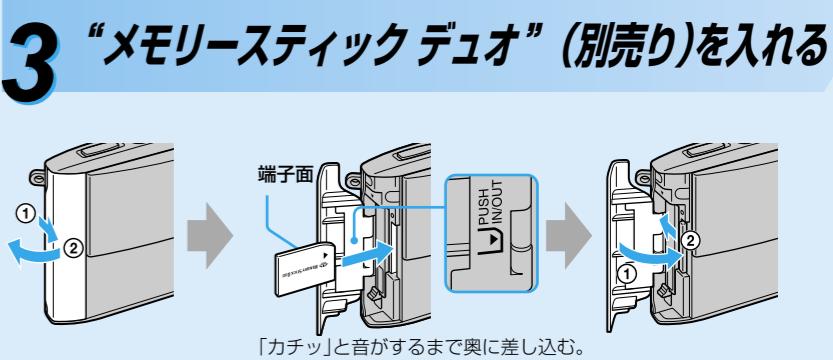
- ・レンズカバーを開く動作が早すぎると、本機の電源が入らないことがあります。この場合はゆっくりと操作をやり直してください。
・レンズに触れないようご注意ください。
・レンズカバーは「カチッ」と音がするまで開けてください。

電源を切るときは

レンズカバーを閉めるか、POWERボタンを再び押す。

- ・バッテリー使用時に、電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐために自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

3 "メモリースティック デュオ" (別売り)を入れる



"メモリースティック デュオ" が挿入されていないときは
本機の内蔵メモリー(32MB)に画像を記録/再生します。→別冊「活用編・困ったときは」22ページ

4 用途に合わせて画像サイズを決める

1 モードを選ぶ。

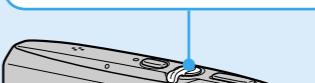
静止画のとき



動画のとき



静止画のとき



動画のとき

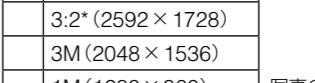


静止画のとき

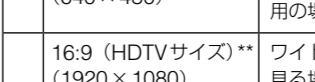


2 ■/□(画像サイズ)ボタンを押す。

静止画のとき



動画のとき



- ・写真的印刷紙、ポストカードなどと同じ3:2の横縦比で撮影します。
・プリント時に両端が切れることができます。→別冊「活用編・困ったときは」88ページ

- *** "メモリースティック" スロットやUSB経由で接続すればより高画質でお楽しみいただけます。
静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

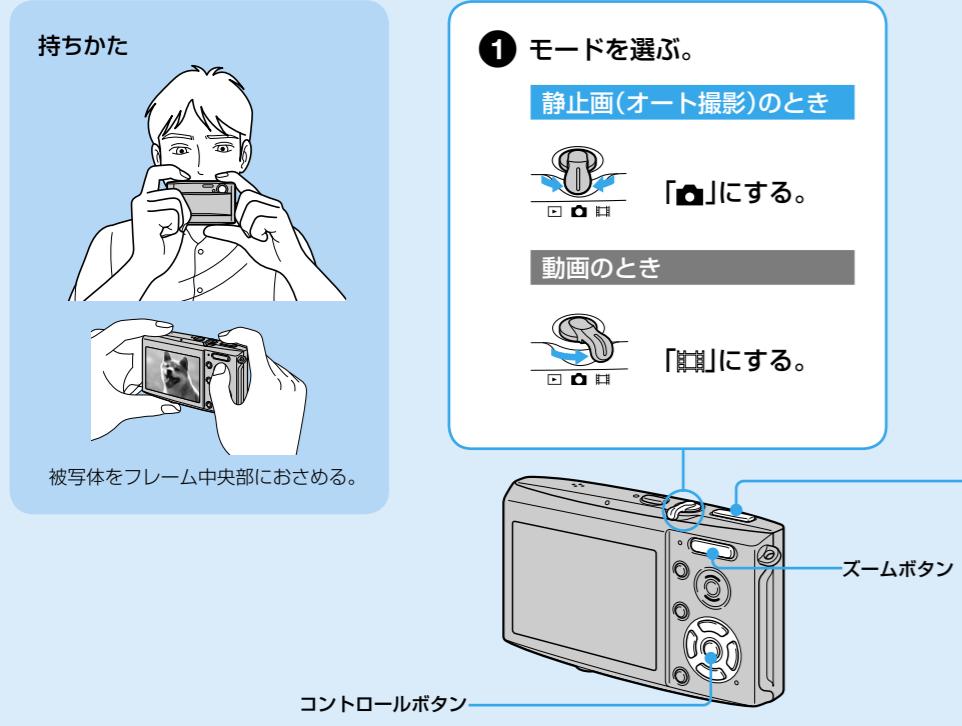
画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」21ページ

- ・撮影可能枚数や記録可能時間は、撮影状況によって異なります。

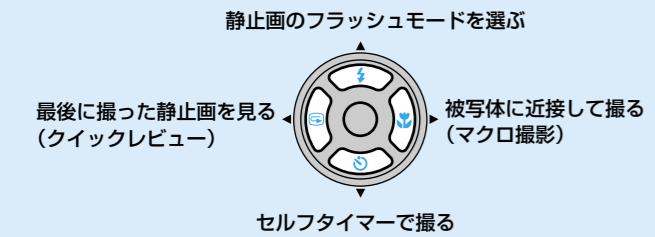
"メモリースティック デュオ" を取り出すときは

アクセスランプ
バッテリー / "メモリースティック デュオ" カバー

5 簡単に撮る(オート撮影)



コントロールボタンの機能を使うには



最後に撮った静止画を見る (クイックレビュー)

コントロールボタンの◀(●)を押す。
やめるには、もう一度◀を押す。



- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、■/▲(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲で[削除]を選び、●を押します。

静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順②の前に、コントロールボタンの▲(△)を押す。押すごとに、設定が変わります。



- 表示なし
- 光量不足と判断したとき発光 (お買い上げ時の設定)
- 強制発光
- スローシンクロ(強制発光)
暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。
- 発光禁止

- フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]の時)
W側: 約0.1~2.5m
T側: 約0.5~2.0m
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

被写体に近接して撮る (マクロ撮影)

手順②の前に、コントロールボタンの▶(▼)を押す。
やめるには、もう一度▶を押す。



- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが遅くなります。
- 近接(マクロ)撮影よりさらに近距離で撮影したい場合は、シーンセレクションの[Q] (拡大鏡モード)をご使用ください。

レンズ先端からの撮影可能距離

W側いっぱいのとき: 約8cm
T側いっぱいのとき: 約25cm

セルフタイマーで撮る

手順②の前に、コントロールボタンの▼(△)を押す。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ビッピッピ」と操作音が鳴り、約10秒後に撮影される。

やめるには、もう一度▼を押す。



- 三脚(別売り)のご使用をおすすめします。

ズームするには



- レンズの倍率(3倍)を超えるとデジタルズームになります。
[デジタルズーム]の種類と画質について→別冊「活用編・困ったときは」44ページ
- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。

静止画のピントがうまく合わないときは

- 被写体まで、約50cm以上の距離が取れないときは、「マクロ撮影」(左記)する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ビビッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

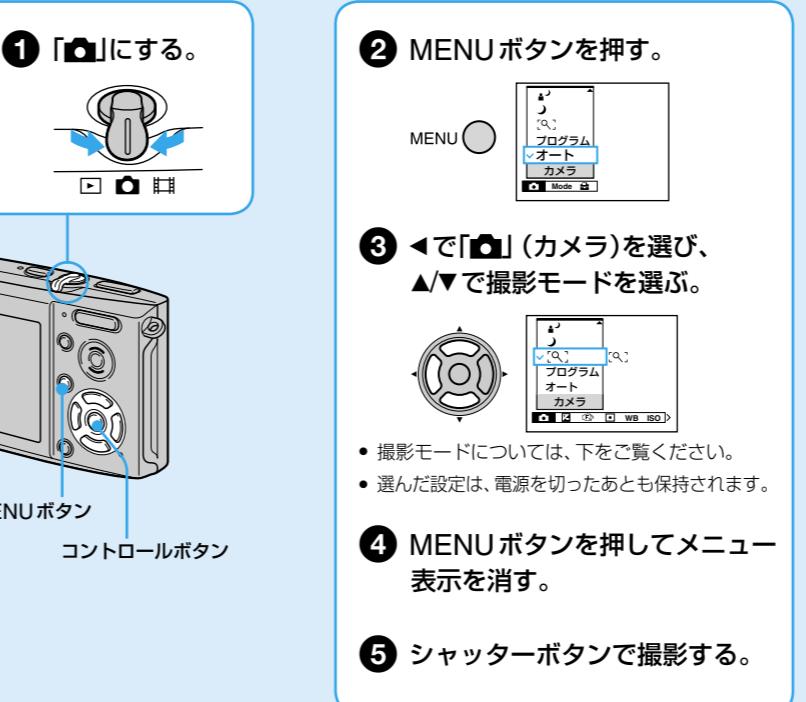
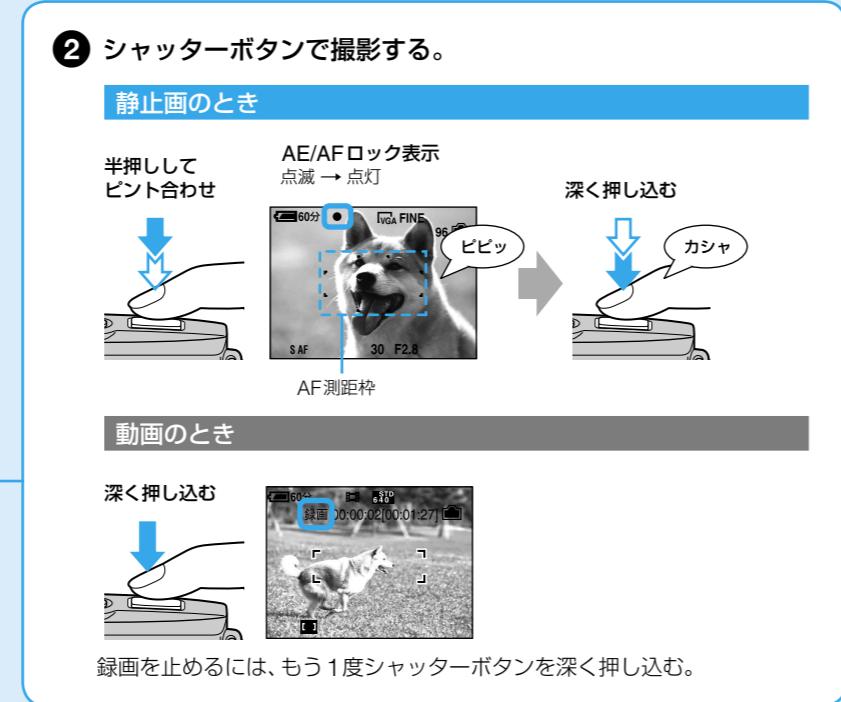
ピントが合いくらいの被写体:

- 被写体が遠くで暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

画面の表示については

→別冊「活用編・困ったときは」16ページ

場面に合わせて静止画を撮る(シーンセレクション)



シーンセレクションを解除するには

▲/▼で[オート]または[プログラム]を選ぶ。

シーンセレクションの撮影モード

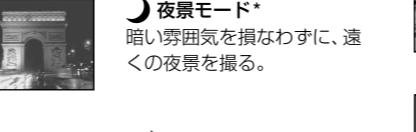
あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。

被写体までの距離	拡大表示倍率
1 cm	3.5倍
2 cm	2.2倍
5 cm	1.1倍
10 cm	0.5倍
20 cm	0.3倍

- ピントが合う被写体までの距離は約1cmから20cmです。
- 光学ズームはW側に固定され使えません。
- ズームボタンを押すと、デジタルズームで拡大して撮影できます。

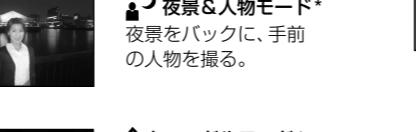


SQx1.1



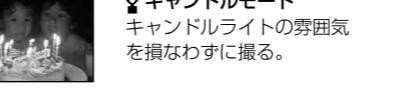
夜景モード*

暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮る。



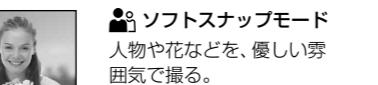
夜景&人物モード*

夜景をバックに、手前の人を撮る。



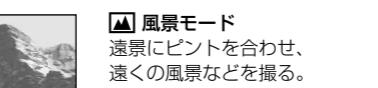
キャンドルモード*

キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮る。



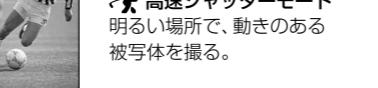
ソフトスナップモード

人物や花などを、優しい雰囲気で撮る。



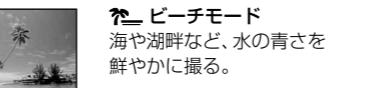
風景モード

遠景にピントを合わせ、遠くの風景などを撮る。



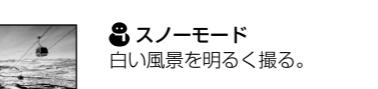
高速シャッターモード

明るい場所で、動きのある被写体を撮る。



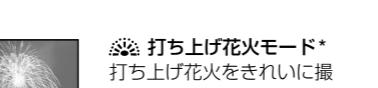
ビーチモード

海や湖畔など、水の青さを鮮やかに撮る。



スノーモード

白い風景を明るく撮る。



打ち上げ花火モード*

打ち上げ花火をきれいに撮る。

拡大して見るときは(再生ズーム)

静止画を再生中に④ボタンを押すと、ズームできる。①ボタンで戻る。

ズーム位置変更: ▲/▼/◀/▶

ズーム中止: ●

・拡大した画像を保存するには: [トリミング]→別冊「活用編・困ったときは」42ページ

一覧(インデックス)表示で見るときは

■(インデックス)ボタンを押し、▲/▼/◀/▶で画像を選択。●を押すと、シングル画面に戻る。◀/▶を押し続けると、次の画面に移る。

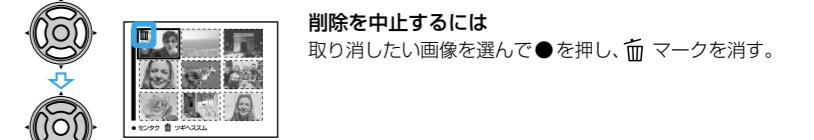


もう一度押すと
16画面表示になります。

一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

1 一覧表示中に■/▲(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で[選択]を選び●を押す。

2 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して■(削除)マークを付ける。



3 ■/▲(削除)ボタンを押す。

4 ▶で[実行]を選び●を押す。

・フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲/▼で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。

削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押し、■(削除)マークを消す。

・画像サイズ[160]で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

6 画像を見る/削除する

